

危機管理対応マニュアル



朝霞市立朝霞第三中学校

※マニュアルはご家庭で3年間、保存してください。

目次

I、朝霞第三中学校震災対応マニュアル

- (1) 日常的な学校の防災活動 . . . p 1
- (2) 学校災害対策本部の組織 . . . p 5
- (3) 教職員在校時の震災対応マニュアル . . . p 6
- (4) 登下校時の震災対応マニュアル . . . p 8
- (5) 校外活動中の震災対応マニュアル . . . p 9

II、火災対応マニュアル . . . p10

III、水害対応マニュアル . . . p11

IV、不審者対応マニュアル . . . p12

V、竜巻対応マニュアル . . . p13

引き渡しカード(家庭保管用)

I 朝霞第三中学校震災対応マニュアル

(1) 日常的な学校の防災活動

日ごろの安全教育及び安全管理を推進し、また、災害が発生した場合において、速やかに生徒等の安全確保を図るため、次の事項について定める。

学校防災委員会の設置

委員長
(校長)

副委員長
(教頭、教務主任等)

総務係（災害対応マニュアル、学校災害対策本部組織等の整備、資料・情報収集、記録など）
施設・設備点検係（施設・設備の点検など）
防災教育係（防災教育・避難訓練、研修の企画など）
救急・救護係（応急手当、防災用具の取り扱いの指導など）

- 適切な安全指導及び施設
- 学校の防災体制の推進に必要な計画を検討、策定し、実施する。

災害対応マニュアル作成

(教頭)

- 災害の状況別の具体的対策
- 生徒等の安否確認、保護者への引渡し計画
- 関係機関への連絡体制の整備 など
(随時見直す)

避難所開設・運営の支援
マニュアル作成

- 学校としての支援体制及び PTA や地域関係団体との分担を整備する。特に、生徒等の安全確保、速やかな学校再開に向けた分担を優先した体制を整える。(市役所地域対応班・連合町内会自主防災組織、消防団、PTA、との連絡)

学校施設・設備等の点検・整備

(教頭)

- 灯油庫や薬品保管庫等の危険物保管所はじめ校内及び校地内の施設・設備全般について点検を実施する。
(定期・随時・日常の点検)
- 消防法に基づく点検・整備
- 学校保健安全法施行規則 28 条に基づく点検・整備

防災上必要な用品等の点検・整備

(教頭)

- 保管場所の把握
- 重要書類等の適切な保管（校長室耐火書庫）
校長印、学校沿革史、卒業台帳、指導要録、人事関係書類など

避難経路・避難場所の想定及び確認

(安全主任・環境安全部)

- 災害状況別(在校時、登下校時等) に具体的な避難方法及び第一次避難場所、液状化や火災の際の第二避難場所を想定し、実地に確認しておく。
- 生徒等、教職員の共通認識

防災教育の実施

(安全主任・環境安全部)

- ※3 防災教育の推進参照
- 「自分の生命は自分で守る」ということを基本に、必要な知識・技能・態度の習得に主眼を置いて、教科等の時間も含めた指導
- 生徒の発達段階に応じた防災教育の実施
- 多様な状況を想定した避難訓練の実施
- 防災研修の実施
- 「心のケア」の視点に立つ研修(さわやか相談室 SC)

情報・連絡体制の整備

(教頭、情報主任)

- 円滑かつ的確な情報の伝達
- 一元的な情報の管理
- 学校内における情報の管理・連絡体制や災害時に連絡すべき機関のリストアップなど、情報連絡体制の整備
- PTAと災害時の協力体制、緊急連絡方法の協議
- 近隣校、地域団体との連絡

家庭・PTA・地域との連携

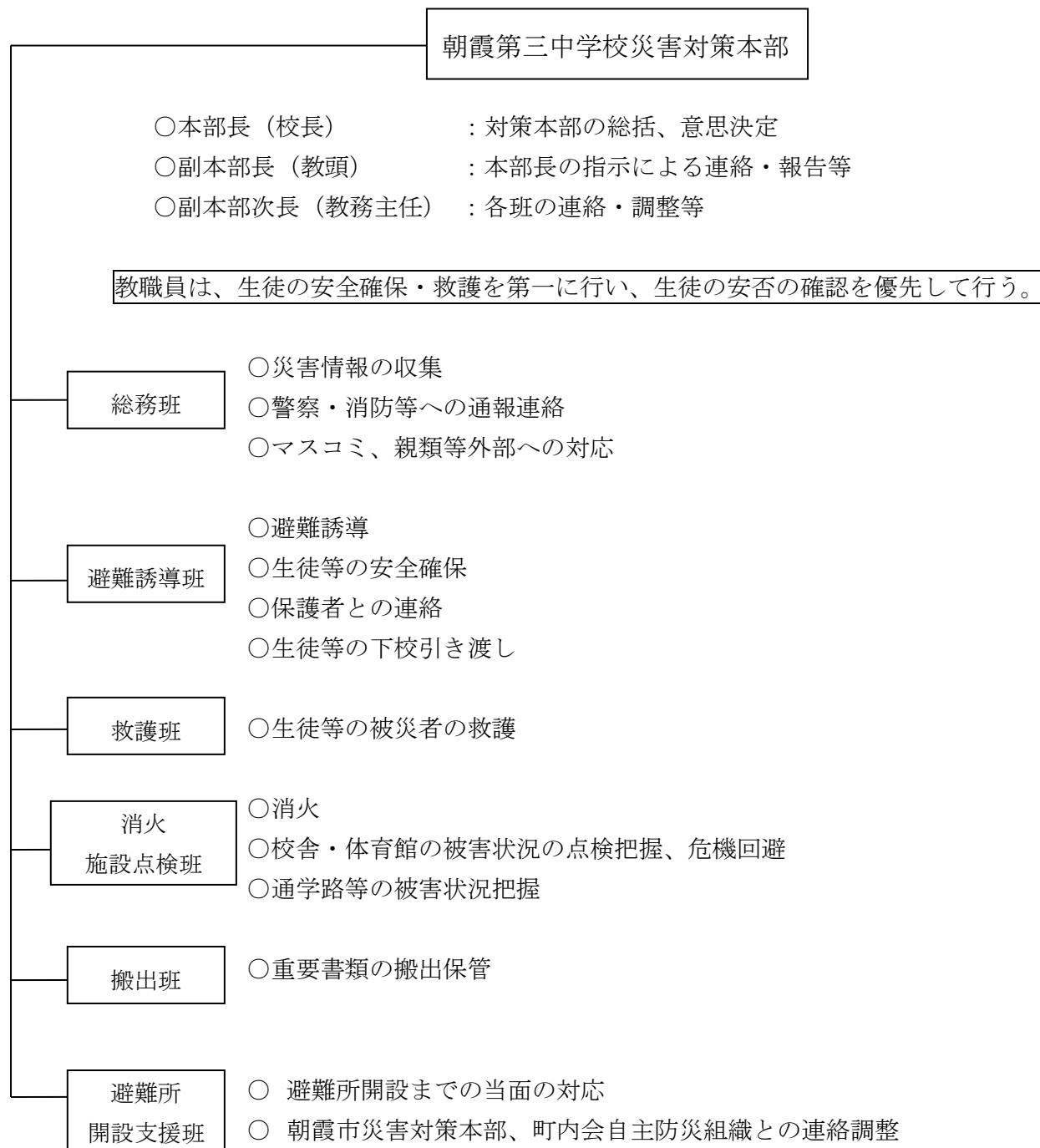
(教頭、情報主任、PTA)

- 各種の機会に通じて、避難所開設・運営や学校防災計画の内容や災害発生時の生徒等の動向、学校の対応などを知らせておく。
- 在校時災害における学校への連絡方法の周知や在校時外の方法にかかわる協力の要請
- *日ごろからの「開かれた学校」を目指し、学校HPやみつばちメール等で情報発信に努める。

(2) 学校災害対策本部の組織

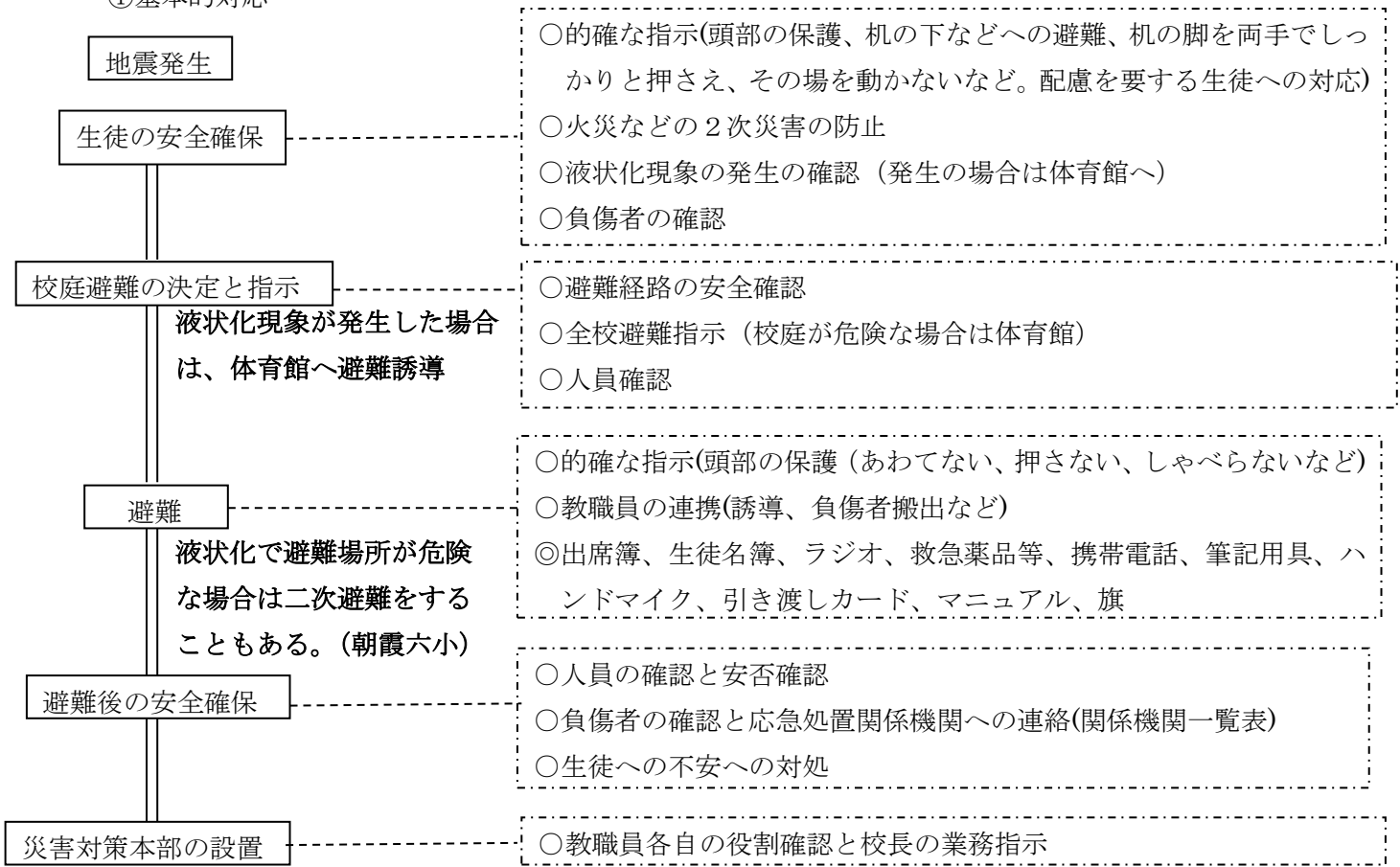
災害の規模・被害の状況等を踏まえ、原則として校長室・職員室に学校災害対策本部を設置し、学校としての組織的な災害対応に当たる。

消防計画で定める自衛消防組織との整合性を踏まえ、学校の実情に応じた組織を編成し、周知徹底を図っておく。



(3) 生徒・教職員在校時の災害対応マニュアル

①基本的対応



①避難場所での対応

① 生徒の不安に対する対処、安全確保(少人数で全体が見渡せるように、生徒等のそばにいて、勝手な行動をとらせないように指示)

②被害状況の把握

② 学校施設・通学路の点検(液状化による建物倒壊の可能性確認)
○通学路及び生徒等の校舎避難、避難所の開設等のための、外見上の安全確認
○危険個所の立ち入り確認等の危険回避対応

③災害情報の収集

③ マスコミ：地震の規模、余震の可能性と規模、津波などの二次災害の危険性等の情報収集
地 域：学区の被害状況、危険個所

④市教委への報告

④ 被害の状況、その他学校内外の指導事項の確認、その他の情報収集、状況に応じた臨時休校措置

⑤外部との対応

⑤ 保護者、親類、知人、マスコミ等からの照会に対応。近隣学校間、校種間連携のネットワークの確立。(近隣で支援しあえることはないか、情報交換をする。)
(液状化現象による二次被害の危険性の回避)

⑥避難所の開設

⑥ 避難所開設・運営の支援マニュアルに基づく活動

避難後の対応決定

- ①避難継続
- ②保護者への連絡

○生徒等の避難後の対応決定(震度5弱以上の場合は、生徒を保護者に引き渡す。引き渡しカードに従って引き渡しを行う。また保護者と連絡が取れなかった場合や引き渡しができない場合は、体育館で生徒を保護する。非常食の配布、毛布等の防寒具の手配 飲料水の手配)
○対応決定後の保護者への連絡(学校HP みつばちメール、すまいるFM)

保護者への引き渡し

②被災状況別の対応例

ア 授業中

※避難経路の確認、避難の指示は職員室で待機中の教職員が行う。

場所	共通事項	個別事項
普通教室	○教師の指示による安全確保の的確な指示(頭部の保護、窓や壁際から離れさせる) ○火気使用中であれば消火する。 ○生徒等の人員等状況確認や周囲の安全確認	○机の下にもぐらせ、机の脚を両手でしっかり持つように指示。
特別教室		○実験中であれば、危険回避の指示(ガス、薬品、熱)
体育館		○中央に集合させ、体を低くするように指示(授業内容や体育用具の位置によっては、壁に寄り添う場合もある)
校庭		○建物から離れ、中央に集合させ体を低くするように指示(液状化発生の場合、体育館へ)
プール	○液状化の発生状況を確認して、避難場所を決定し、指示を出す。校庭→体育館 ○二次避難をする場合の指示・誘導	○速やかにプールのふちに異動させ、ふちをつかむように指示 ○避難準備(サンダル・靴を履き、衣類やバスタオルで身を守る)

- 【指示例】①「落ち着きなさい。被害が予想されます。壁や窓から離れ、机の下にもぐりなさい。両手で机の脚をもち、頭を守りなさい。上着やカバンなどで頭を守りなさい。落ち着いて、次の指示を待ちなさい」
- ②「落ち着きなさい。被害が予想されるので、校庭に避難しなさい。声を出さず、校舎内は走らず、静かに非難しなさい。上からの落下物に気を付けながら、落ち着いて指示に従って校庭(体育館)に避難しなさい。」

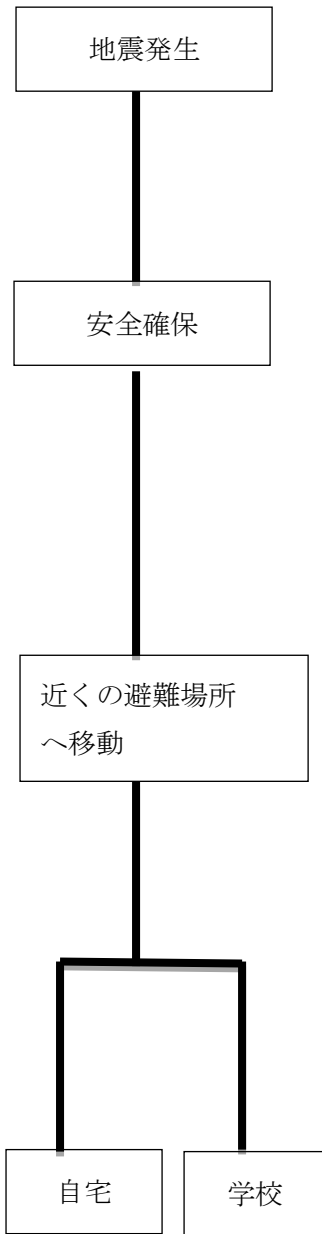
イ 教師と生徒等が離れている場合
(始業前、休み時間、放課後等)

場所	生徒等の行動	教職員の対応
階段 廊下 トイレ等	○揺れている間は、上着やカバン等で頭部を保護してじっと待機する。 ○落下物や倒壊物に気をつける。 ○揺れが収まり、教師の指示に従い、校舎外避難場所に避難する。 ○周囲の安全確認	○全校指示(揺れが収まるまで、頭部を保護して教職員が到着するまで待機するように指示) ○教職員は分散して生徒等の安全確保、指示・誘導 ○校舎外にいる生徒等の安全確保、負傷者の応急手当て
校庭等	○建物、ブレック塀、窓ガラスの近くから離れる ○揺れが収まるまで、後頭部を保護し、広い場所の中央で待機する	○液状化の発生有無の確認と避難場所の決定および周知

(4) 登下校時の災害対応マニュアル

生徒等の行動

教職員の対応



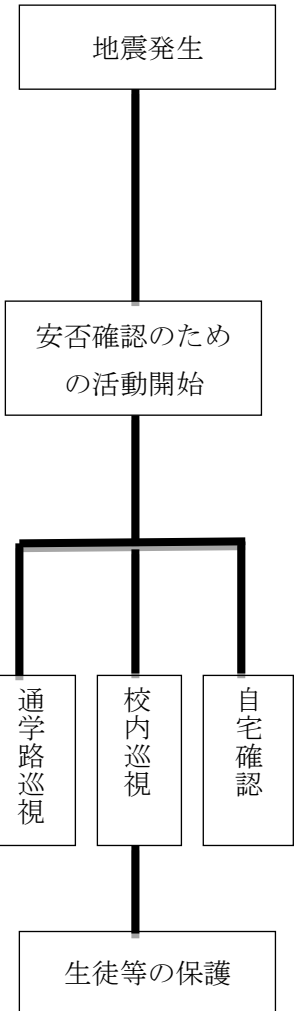
- 頭部を保護し、身を低くする
- 車道には出ない。
- 建物、ブロック塀、窓ガラスから離れる。

- 揺れが収まったら、状況に応じて公園、学校等の避難場所、あるいは自宅に避難する。
- 自宅や学校に避難することが困難な場合、教職員や保護者、地域のひとが来るまで、そのまま待機する。

- 校内残留生徒等の安否の確認
- 通学路上、避難場所の生徒等の安否確認（生徒引取り確認カードの持参）

- 保護者、地域と連携し、生徒等の所在確認

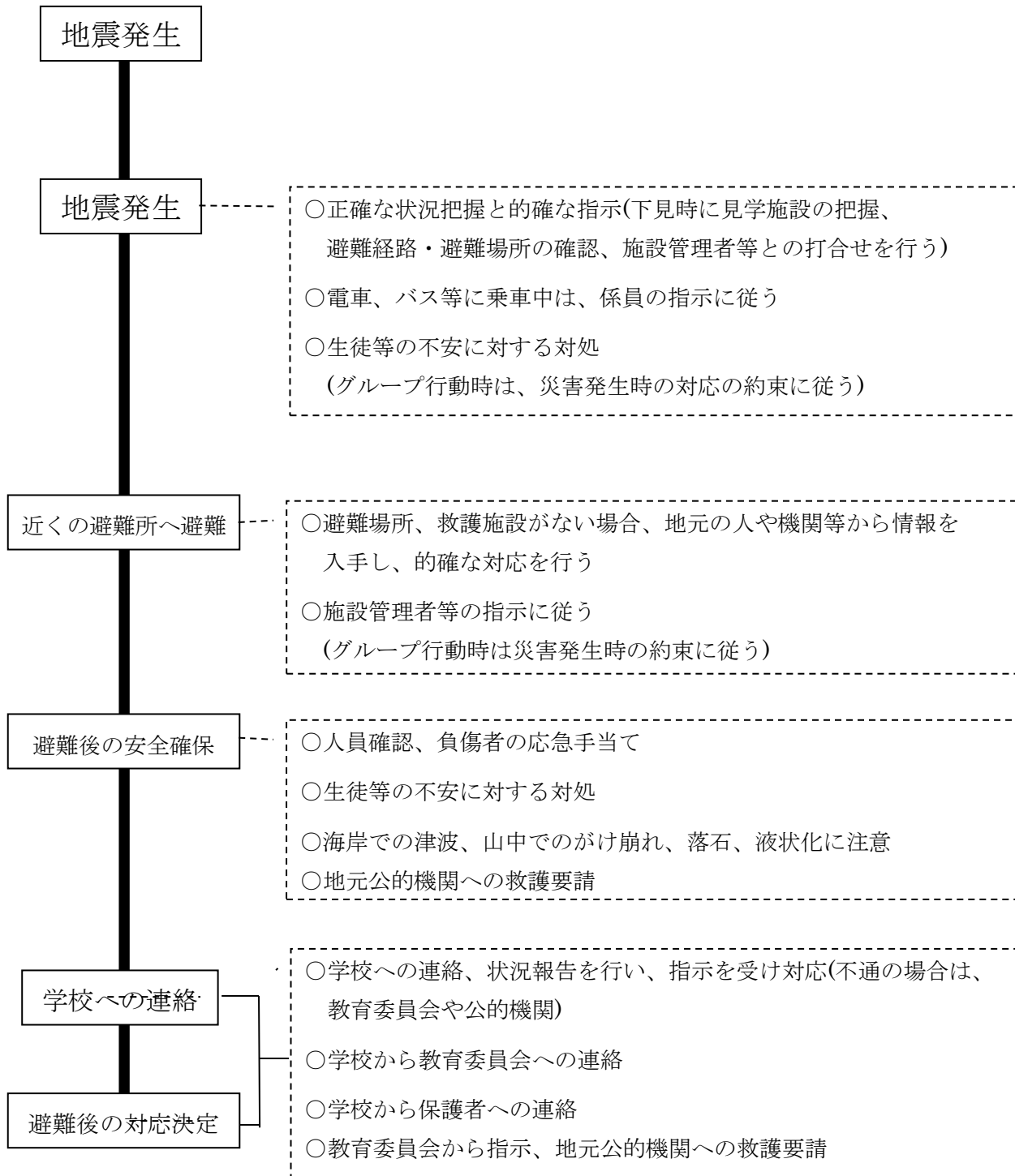
- 家庭への確実な引き渡し
- 家族不在時は学校で保護



避難後の対応決定

状況に応じた対応（生徒等の安全確保のための学校・保護者・地域との連携）をとる。液状化による倒壊の危険性がある場合は、高台にある他の学校（施設）へ避難させることもある。

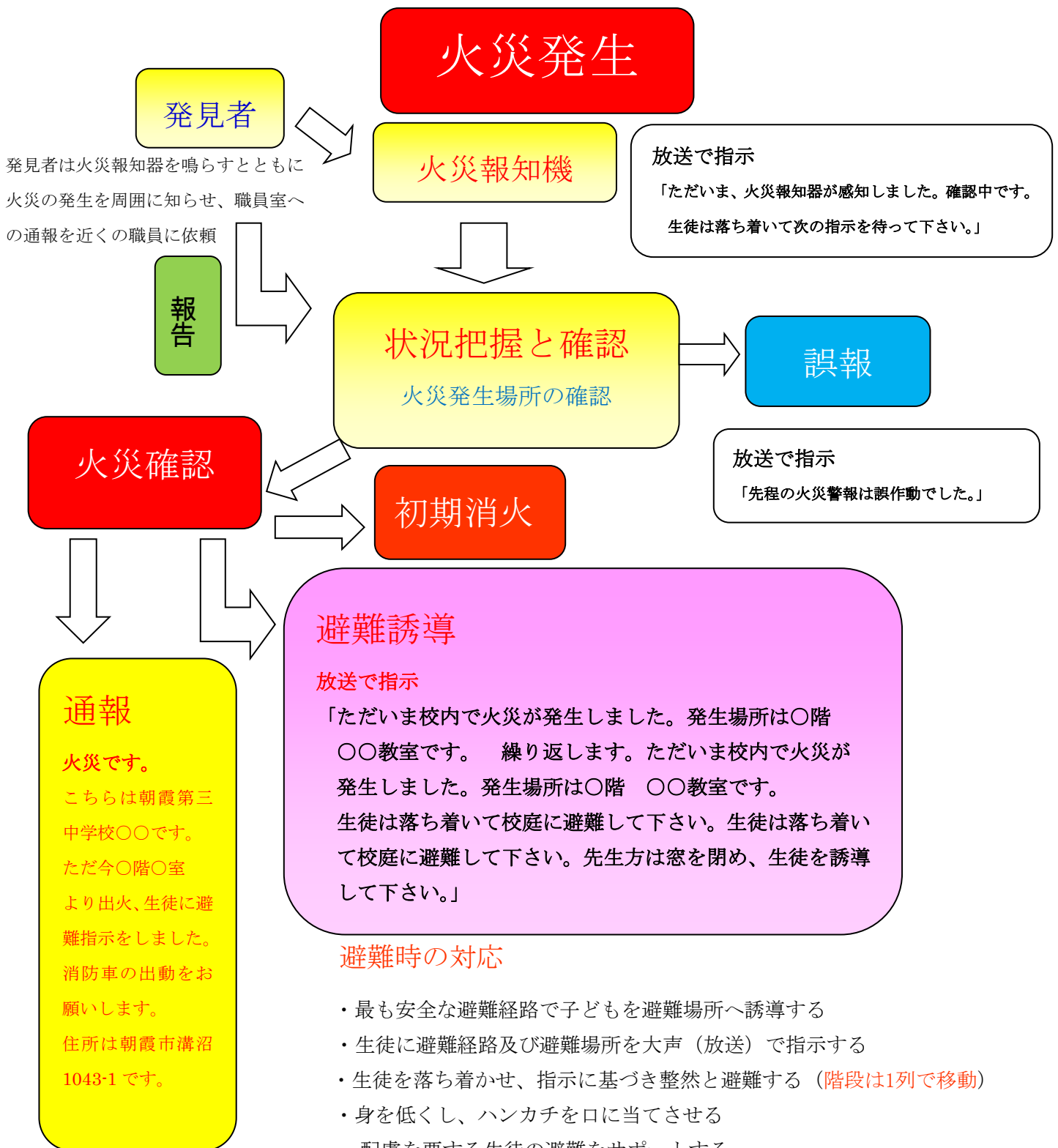
(5) 校外活動中の災害対応マニュアル



※修学旅行等、市域外で学習しているときに朝霞市内に地震があった場合

- ・地震の規模、被害状況等の情報収集
- ・学校または教育委員会への連絡、指示を受け対応
- ・地元公的機関や関係機関(旅行業者等)との連携
- ・生徒の不安に対する対処(状況説明、今後の対応等)

II 朝霞第三中学校火災対応マニュアル



Ⅲ 朝霞第三中学校水害対応マニュアル

朝霞市より水害の危険に伴う「避難勧告」「避難指示」が発令された場合の対応マニュアル

午前7時 時点

(午前7時時点で「発令中」の時、原則として学校からは連絡しません)

「避難勧告」「避難指示」発令中

「避難勧告」「避難指示」発令なし

午前10時まで登校見合わせ
(学校からは連絡はしません)

通常通り登校
(家庭の判断で見合わせも可)

午前10時 時点

登校後

発令継続中

発令解除

避難勧告等発令

避難準備情報発令

臨時休業

登校

学校内待機

(連絡網・みつばちメールで通知)

状況により判断 授業打ち切りで下校 または学校内待機 (連絡網・みつばちメールで通知)

- 家庭の判断で登校を見合わせることも可
- 給食は市の判断で実施
- 午後まで授業

学校長の判断により以下のような措置をとる場合があります。その場合は、連絡網・みつばちメールでお知らせします。

- 教師の誘導による集団下校
- 全校避難 (避難先 朝霞第六小学校)
- 保護者への引き渡し

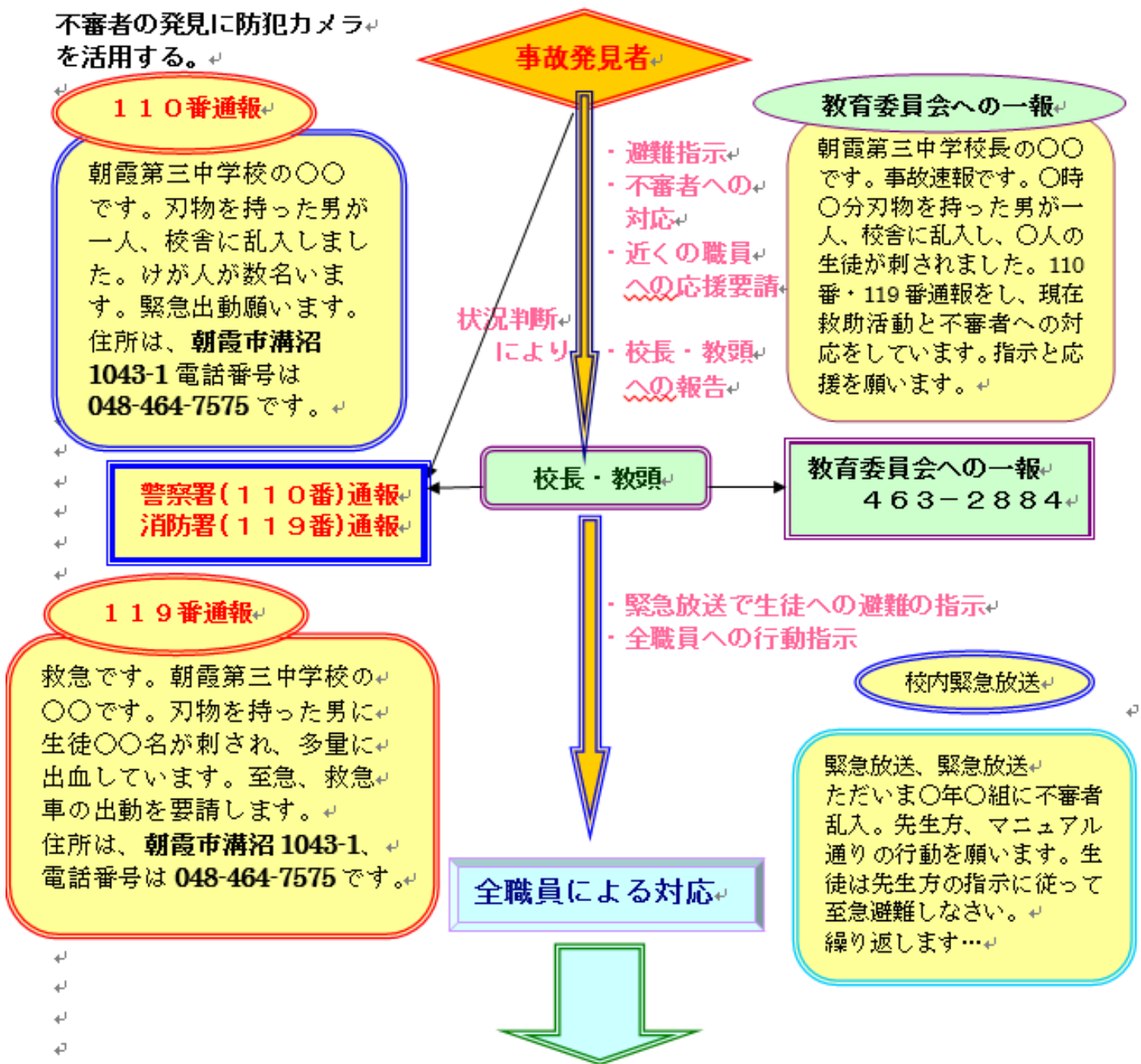


朝霞市立朝霞第三中学校

IV、生徒の安全確保に関する緊急対応マニュアル

《不審者による事故発生時における対応》

不審者の発見に防犯カメラを活用する。

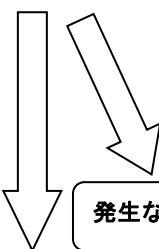
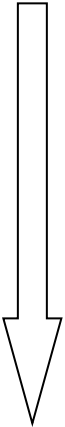
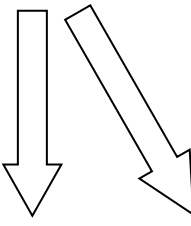


校長・教頭	教務主任	学年主任 担任等	生徒指導担当	養護教諭 保健主事	事務職員等
<ul style="list-style-type: none"> ・陣頭指揮 ・職員への連絡調整 ・被害生徒の家庭訪問 ・警察、報道機関への対応等 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係保護者への連絡 ・PTA役員への連絡 ・全保護者への連絡等 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導 ・安全確認 ・安全指導 ・保護者への引き渡し ・被害生徒の家庭訪問等 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場直行 ・不審者への対応等 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急処置 ・救急車同乗 ・医療機関との連携等 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話対応 ・各種連絡等

V 竜巻対応マニュアル

(1) 生徒在校時

(朝霞市立朝霞第三中学校)

対応	気象状況等	校長・教頭等	教職員	児童生徒
防止・準備	天気予報・雷注意報 ・気象状況の情報収集に努める。 ・キーワード「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」	<input type="checkbox"/> 安全管理 ●マニュアルの見直し、共通理解 ●校内研修(学校安全)の実施 ●避難訓練の実施 ●保護者、地域、関係機関との連携	<input type="checkbox"/> 安全指導	<input type="checkbox"/> 安全学習 ・竜巻について知る。 ・身の安全の守り方、避難行動について知る。
対応	第1行動 竜巻注意情報 	<input type="checkbox"/> 第1行動指示 ・情報収集(気象庁情報等) ・避難状況の確認 ・放送、拡声器又は伝令 発生なし→解除指示→教育活動再開	<input type="checkbox"/> 第1行動開始 「竜巻が発生しています。身を守る準備をください。」 ○外にいる者は校舎内、教室へ移動する。 ○教室内ではできるだけ中央に寄る。机を中央に寄せる。 ○窓、カーテンを閉める。	
	第2行動 竜巻発生 	<input type="checkbox"/> 第2行動指示	<input type="checkbox"/> 第2行動開始 「竜巻が接近しています。自分の身をしっかりと守りなさい。」 ○机の下にもぐる。(窓、ドア、壁から離れる) ○頭と首を守る。(防災頭巾やヘルメットなど、無い場合は両手) <教職員の共通行動> ●児童生徒の避難行動を確認する。 ●教職員は、その場にいる児童生徒を勇気づける。 ●教職員自身も身を守る行動をとる。	
	第3行動 竜巻通過 	<input type="checkbox"/> 第3行動指示 <input type="checkbox"/> 状況確認 ・児童生徒安否、被害状況確認 ・被害状況により、消防、救急、教育委員会へ連絡 ・学校周辺確認 教育活動不可能 / 教育活動可能	<input type="checkbox"/> 第3行動開始 「先生方は状況を報告してください。児童生徒はその場に待機しなさい。」 ●児童生徒を落ち着かせる。 ●児童生徒の安否、被害状況を確認する。 ●状況を管理職へ報告する。 ●児童生徒をその場に待機させる。待機させられ状況の場合は安全な場所へ誘導する。(負傷者への応急手当)	
回復	<input type="checkbox"/> 教育活動続行不可能な被害 ・学校災害対策本部設置(対応検討) ・安全な場所へ児童生徒を誘導 ・メール配信、HPによる情報提供(下校の遅れ、場合によっては引渡し)	<input type="checkbox"/> 学校再開 <input type="checkbox"/> 災害対策評価	<input type="checkbox"/> 教育活動続行可能 ・授業再開 ・学校周辺の安全が確認された後、通常下校 ・メール配信、HPによる情報提供 <input type="checkbox"/> メンタルサポート	

(2) 生徒登下校時

(朝霞市立朝霞第三中学校)

対応	校長・教頭等	教職員	気象状況等	児童生徒
防止・準備	<input type="checkbox"/> 安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ●通学路点検 ●登下校指導 ●通学路、通学方法等の把握 ●保護者、地域との連携（災害発生時の申し合わせ等） 	<input type="checkbox"/> 安全指導	天気予報・雷注意報 ・気象状況の情報収集に努める。 ・キーワード 「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」	<input type="checkbox"/> 安全学習 ・「地域安全マップ」の作成
対応	第1行動 <input type="checkbox"/> 第1行動指示 ・情報収集（気象庁情報等） ・登下校状況の把握 ・放送、拡声器又は伝令 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">発生なし→解除指示</div>	第1行動開始 <input type="checkbox"/> 第1行動開始 ・登下校状況の確認 ・在校児童生徒の安全確保	竜巻注意情報 	<input type="checkbox"/> 第1行動開始 ・登下校前に竜巻注意情報が発令された場合は自宅又は学校で待機する。 ・登下校中に竜巻の発生が予測された場合は、安全な場所へ避難する。 ・近くの大人に助けを求める。
	第2行動 <input type="checkbox"/> 第2行動指示	第2行動開始 <input type="checkbox"/> 第2行動開始 ・在校児童生徒の安全確保	竜巻発生 	<input type="checkbox"/> 第2行動開始 ・自らの身を守る場所で安全を確保する。 ・頭、首を守る。
	第3行動 <input type="checkbox"/> 第3行動指示 <input type="checkbox"/> 状況確認 ・児童生徒安否、被害状況確認 ・被害状況により消防、救急、教育委員会へ連絡 ・学校周辺の安全確認確	第3行動開始 <input type="checkbox"/> 第3行動開始 ・在校児童生徒確認安否、被害状況確認 ・在校していない児童生徒の安否確認 ・負傷者への応急手当を行う。	竜巻通過 	<input type="checkbox"/> 第3行動開始 ・登下校中の場合、学校か自宅へ安全に戻る方に行く。 ・状況によっては避難場所で待機する。 ・自宅に戻った際は学校へ連絡する。
回復	<input type="checkbox"/> 学校再開 <input type="checkbox"/> 災害対策評価		<input type="checkbox"/> 教育活動不可能な被害 ・学校災害対策本部設置（対応検討） ・安全な場所へ児童生徒を誘導 ・メール配信、HPによる情報提供（休校、児童生徒の下校、場合によっては引渡しについて）	<input type="checkbox"/> 教育活動可能 ・通常授業 ・メール配信、HPによる情報提供
	<input type="checkbox"/> 学校再開 <input type="checkbox"/> 災害対策評価	<input type="checkbox"/> メンタルサポート		

(3) 校外行事

(朝霞市立朝霞第三中学校)

対応	在校教職員	気象状況等	引率教職員	児童生徒
防止・準備	<input type="checkbox"/> 安全管理 ・日程の把握 ・児童生徒の名簿の確認 ・気象状況等の確認	天気予報・雷注意報 ・気象状況の情報収集に努める。 ・キーワード 「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」	<input type="checkbox"/> 安全指導 ●現地の防災計画、避難所、避難場所、医療機関の確認 ●宿泊場所の構造、安全な場所、非常口、避難経路の確認 ●児童生徒緊急連絡先の管理 ●往復の交通機関における安全確認	<input type="checkbox"/> 安全学習
対応	第1行動 <input type="checkbox"/> 情報収集 ・情報収集（気象庁情報等） ・現地との連絡（現地の近隣で竜巻が発生し、被害がでた場合も状況を確認）	竜巻注意情報 	<input type="checkbox"/> 第1行動指示 <input type="checkbox"/> 第1行動開始 「宿泊所等にいる場合」 ○外にいる者は室内へ避難する。 ○室内の安全な場所に避難する。 ○できるだけ下の階に避難する。 ○窓、カーテンを閉める。 「屋外にいる場合」 ●安全な場所へ直ちに避難させる。	
	第2行動 <input type="checkbox"/> 情報収集 ・情報収集（気象庁情報等）	竜巻発生 	<input type="checkbox"/> 第2行動指示 <input type="checkbox"/> 第2行動開始 「その場に応じた避難行動をとる」 ○机の下にもぐる。（窓、ドア、壁から離れる） ○頭と首を守る。（防災頭巾やヘルメットなど、無い場合は両手） <教職員の共通行動> ●児童生徒の避難行動を確認する。 ●教職員は、その場にいる児童生徒を勇気づける。 ●教職員自身も身を守る行動をとる。	
	第3行動 <input type="checkbox"/> 情報収集 ・現地の情報収集（安否、被害状況等） ・中止になった場合の家庭、教育委員会への連絡	竜巻通過 帰校 続行	<input type="checkbox"/> 第3行動指示 <input type="checkbox"/> 第3行動開始 ●児童生徒を落ち着かせる。 ●児童生徒の安否、被害状況を確認し状況を学校へ報告する。 ●被害状況により、消防、救急へ連絡する。 ●負傷者の応急手当を行う。	
回復	<input type="checkbox"/> 教育活動続行不可能な被害 ・学校災害対策本部設置（対応検討） ・家庭への連絡、教育委員会へ状況説明 ・メール配信、HPによる情報提供（帰校等） ・担当旅行会社との連絡		<input type="checkbox"/> 教育続行活動可能 ・校外行事再開 ・メール配信、HPによる情報提供	
	<input type="checkbox"/> 学校再開 <input type="checkbox"/> 災害対策評価		<input type="checkbox"/> メンタルサポート	